



東京マラソン 2014 警備・救護強化プロジェクトについて

東京マラソン財団では、2013 年 4 月にボストンマラソンで起きた爆弾テロ事件を踏まえ、東京マラソン 2014 における警備・救護体制の強化策として以下のとおり検討いたしました。

だれもが安心して参加出来る、『世界一安全・安心なマラソン大会』を目指して、運営に努めていきます。

○主な警備・救護強化策

Phase 1 安全・安心な大会のPR

安全・安心な大会をPRし、犯罪に対する抑止効果を高める。

- ・ランナーやボランティアなど、大会参加者にリストバンドの着用をお願いし、「安全・安心」ムーブメントを創出 ※リストバンドの詳細については、別紙 1 をご参照ください。

Phase 2 警備体制の強化

不審物・不審人物の早期発見、排除などの防止策を講じる。

- ・警視庁と連携し、警備人員の増強や監視カメラを設置
- ・規制エリアへの入場チェックを強化。新たにフィニッシュエリアでの手荷物検査を実施
- ・コース沿道地域の町会等と連携し、監視活動への協力を依頼
- ・テロ対策合同訓練を実施し、大会スタッフなどの危機管理対応能力を向上（12 月 11 日実施済）

Phase 3 救護体制の強化

万が一の場合を想定し、救護体制の連携・強化を図る。

- ・フィニッシュ地点の救護スタッフを増強
- ・医療救護研修会を実施し、医療救護スタッフ等の緊急対応能力を向上（1 月 19 日実施予定）
- ・東京消防庁と連携し、救急車両等の配備や救護所にトリアージシート・トリアージタグを配備

プロジェクトの詳細については、別紙 2 の報告書をご参照ください。

Phase 1 安全・安心な大会のPR

○リストバンドのイメージ（安全・安心なイメージカラー 緑色）



○リストバンドと一緒に同封する台紙

参加するみなさまへ

東京マラソン2014への参加にあたっては、
このリストバンド着用へのご協力をお願いします。

ランナー、TEAM SMILE(ボランティア)、
応援するみなさまでひとつになり、
「SAFE & SECURE」な大会の
素晴らしさをアピールしましょう！

Please wear this wristband to show the world
your support for the "SAFE & SECURE" event.



東京がひとつになる日。
東京マラソン
平成26年2月23日⑧開催

TOKYO MARATHON 2014

警備・救護強化プロジェクト

2013年4月、米国ボストンマラソンで起きた爆弾テロ事件以降、スポーツイベントにおける警備・救護体制の強化が重要視されております。東京マラソン財団においても、より安全・安心なマラソン大会を目指し、本プロジェクトを立ち上げ検討を重ねてきました。

このリストバンドは、大会に参加する方々がひとつになり、「安全・安心な大会」を創出する取組みの一環として作りました。本プロジェクトの取組みについて、みなさまのご理解とご協力をお願いします。

プロジェクトの取組みについてはコチラ

<http://www.tokyo42195.org/>

個数 65,000個

配付対象 ランナー、TEAM SMAILE（ボランティア）、審判員、沿道応援など
東京マラソンEXPO2014会場でも配布予定